令和３年度第３回 品川区地域自立支援協議会

# 2.就労支援部会のとりまとめ結果

|  |  |
| --- | --- |
| **№** | **内　容** |
| １ | 第2回の協議会の中で課題となっていた重度障害者（主に車いす利用者）の就労の場について。企業就労、就労A・Bともに、重度障害者の方の利用先を探すことが非常に困難となっている。多様な就労支援を考えられるように、就労（雇用）の定着を図れるような支援の工夫、地域のA型、B型の受け入れ体制について検討が必要と思います。本人、家族の加齢、高齢化からくる問題など、生活面で困難となっていることはないか、部会でそれらの話題が出ることはないか、伺ってみたい。 |
| ２ | 相談部会同様に書面開催ですから、これだけの報告では具体性にかけ、意見が出せない。  例えば、第２回就労支援部会（２，短時間雇用の概要、４，コロナ禍での取り組み、５，障害福祉計画の課題の検討）  第３回就労支援部会（２．事業所の登録方法、３，それぞれの課題、５，アンケート取りまとめ資料）以上について、中身を理解したい。  参考資料等や当日配布した書類等が頂ければ、他の委員からも意見が吸い上げられるのではないか。２月１８日の近藤先生のオンラインセミナーについては、他の委員にも周知いただけたのか？私は残念ながら知ることが出来なかったが、このようなセミナーや研修を行う際は、ご面倒かと思うが、他の委員にもお知らせいただきたい。また、相談部会同様、部会員が大幅に増えていることは大変良いことと思う。横のつながりが確実に強まることを期待する。 |
| ３ | 就労支援部会報告の各項目について「対応状況を確認した」「確認した」「検討した」と書かれていることについて、「何をどのように」が書面に記載されていないため、わからなかった。書面開催の場合には、開催と実施の事実だけではなく、そこで何がどのように行われたのかを記載しなければ、内容についての回答が困難である。超短時間雇用のセミナー実施に関連して、今後具体的に品川区内での雇用を取り巻く問題について、どのような課題があり、また具体的にどのような取り組みができるのか、自立支援協議会のテーマとして委員全体で議論する機会が必要である。 |
| ４ | 「聴覚障害者は特に就労が困難だ」とハローワークの担当者が言っている。その主な理由はコミュニケーション、意思疎通の困難さである。就労移行関係の事業所においても、意思疎通支援事業について広く周知され、実際に手話通訳派遣等、活用されることを要望する。 |
| ５ | 重度障害者の就労が進むような取り組みの検討をお願いいたします。 |
| ６ | 品川地域内企業に、障害者雇用促進のPRを積極的にチラシ、広報等で周知したらどうですか。 |
| ７ | 近藤先生のセミナーも事業内で新たな雇用の仕組みを知る機会ができて好評だったので、他の取り組みや事例についても知りたい。実践している生の声もきいてみたい。 |
| ８ | 超短時間雇用についてセミナーを開催し、講師の先生の話を聞き、かつ、テーマについて意見交換する機会は大変有意義な活動だと思います。 |
| ９ | 近藤先生のセミナーを開催されたとのこと、何人ぐらいの参加者があったのか、その際の感想なども情報共有をお願いします。 |
| 10 | 特にコロナ下での取り組みで、頭が下がる思いです。 |
| 11 | 意見なし。 |